

みどりをさがしにでかけよう

No.
12

2020/11

ちが咲き



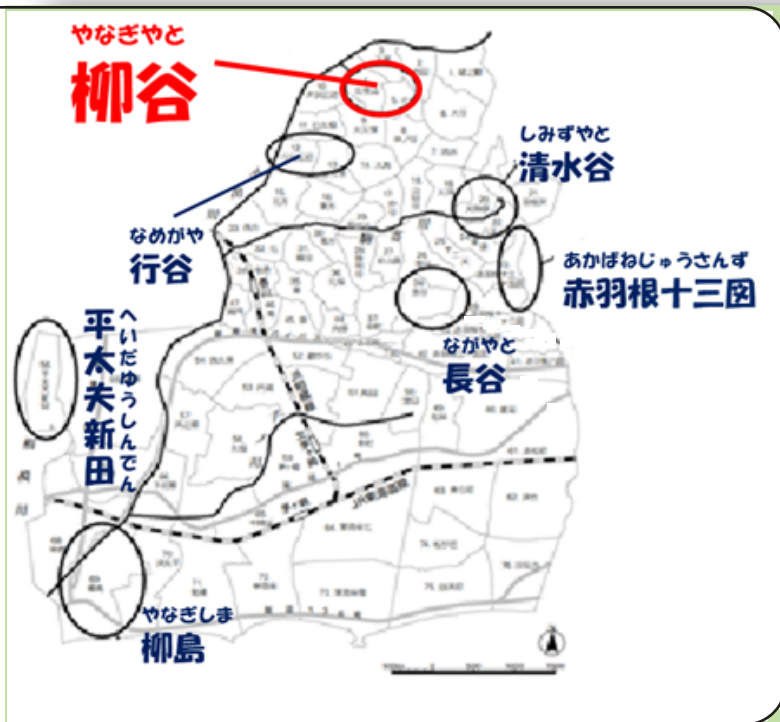
多様な生きものを育む市内最大の谷戸^{やと} 柳谷^{やなぎやと}

市内で最大規模の谷戸^{やと}、柳谷^{やなぎやと}。約24haの谷戸の中には、市内では当地周辺だけで記録されている生きものの種類が多いのも大きな特徴です。樹林や水辺、草地などといった性質の異なる様々な環境は、多様な生きものの貴重な生息・生育空間となっています。

市内最大かつ市内有数の良好な谷戸環境を有する場所として、現在、柳谷では主としてボランティアグループにより草地管理や外来種の除去などが行われています。今号では、柳谷の魅力をご紹介します。

どうしてこんなにたくさんの 生きものが生息・生育できるの？

やなぎやと
～柳谷の魅力～



位置

柳谷は、茅ヶ崎市の北部に位置し、大部分が神奈川県立茅ヶ崎里山公園が含まれる市内最大の谷戸です。

柳谷はコアマップ対象地区

茅ヶ崎市ではおおよそ5年間隔で「茅ヶ崎市自然環境評価調査」を実施しています。柳谷は「特に重要度の高い自然環境を有する地域」と位置づけられており、このような地域のことをコアマップ対象地区といいます。当調査についてさらに詳しく知りたい方は市のホームページをご覧ください。
<https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/machidukuri/ryokka/1008115.html>

①多様な環境の 組み合わせ

樹林、水田、湿地、細流、草地 というさまざまな自然環境が見られることが大きな特徴。その複合的な環境が多様な生きものの生息・生育を支えています。

②自然を感じられる 身近な場所

レクリエーションにも利用されている柳谷ですが、自然観察会が開催されたり、生きものを守るため立ち入りを制限した保全エリアがあったり、人と生きものが共存している場所でもあるのです。

特徴

③緩衝地帯も有する 規模の大きな谷戸環境

谷戸周辺に広がる樹林、水田、畑等が、緩衝地帯としての役割を果たしています。また、谷戸中央を貫通する道路が無く樹林が分断されずに残っています。



※赤線は前回調査の調査範囲です。

やなぎやと

柳谷で見られる生きもの

水辺の生きもの



- ・ニホンアカガエル（両生類）
産卵は他のカエルよりも早い2～3月。
卵を産むとまた冬眠に戻ります。



- ・ヒバカリ（蛇）
おたまじゃくしを好んで食べるので、
水辺のあるところに生息しています。

草地の生きもの



撮影者：青木雄司さん

- ・カヤネズミ（哺乳類）
サイズは親指ほどの日本で一番小さなねずみ。
市の絶滅危惧種の一つです。



- ・ウワバミソウ（植物）
別名「ミズナ」。水気の多い斜面などに生育
します。市内では現在柳谷だけに見られます。

樹林の生きもの



- ・シュレーゲルアオガエル（両生類）
求愛している4～6月に鳴き声がよく聞かれます。物陰や土中に
隠れているので鳴き声があっても姿がみえないことがあります。



- ・ヤマガラ（鳥類）
普段は「ビービービー」、求愛のときは「ツツピーン、
ツツピーン」とゆっくりした鳴き声です。
常緑広葉樹林に多い種類。



- ・ヤマトタマムシ（昆虫）
宝石のきらめきの様な美しい外見から、古来より珍重されて
きました。衰弱したエノキなどで発生します。

柳谷（里山公園）で活動をしている 団体の紹介

柳谷では、多様な生きものの生息・生育環境を確保することを目的とした保全作業や、柳谷の自然や生きものを知ってもらうことを目的とした自然観察会が定期的に行われています。これらの活動は、有志と公園管理者の協働で行われています。また、定期的に行われる「里山保全部会」では茅ヶ崎里山公園の公園管理者、市民団体、市で公園の保全管理等について情報交換・協議などを行っています。

＜柳谷の自然に学ぶ会＞

県立茅ヶ崎里山公園とその周辺で毎月、植物・昆虫・鳥類などの定例自然観察会を行っています。また、第1木曜日と第3日曜日の月2回、畑の村湿地（公園内北部）の保全作業を行っています。

その他にも植物・水質水生生物・両生類・野鳥などといった生きものの調査活動もを行っています。

【ホームページ】

<https://sapocen.net/organization/org123/>



＜茅ヶ崎里山公園倶楽部＞

茅ヶ崎里山公園倶楽部は、人と生きものが共存してきた里山の仕組みを、田んぼ・畑・雑木林で体験しながら理解していくボランティア活動です。

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tigasakisatoyamaclub/>

＜茅ヶ崎野外自然史博物館＞

より多くの人々に身近な自然の楽しさ・素晴らしさ・不可思議さを伝えることで自然大好き人間を増やしたいと思っています。同時に、地域固有の自然とは何か、その自然を後世に引き継ぐことの重要性を伝え、この自然を未来に送り届けることを目的に活動しています。最も生物多様性の高い柳谷では自然観察会、行谷では湿地の保全作業を行っています。

【ホームページ】 <http://yagaihaku.blogspot.com/>

